

令和8年度 第1回 大阪市立小路小学校 学校協議会 実施報告書

校 園 名 大阪市立小路小学校

校 園 長 名 湊 健 次

日 時	令和8年4月28日(火) 17:30~18:30		
場 所	小路小学校 校長室		
出席者	委員 など	会長、委員5名	
	校 園	校長、教頭	
	区役所	係員	
議 題	1. 令和8年度 「運営に関する計画」について 2. 令和8年度 「校長経営戦略支援予算」について 3. 令和8年度 「学力向上に資するブロック予算」について		
協 議 要 旨		協議の結果	意見の概要 (○…委員から ・…学校から)
	1	「運営に関する計画」	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度、運営に関する計画が新しくなった。4年間で目標を達成していく。大きく変えたのは、「いじめ」に関する項目、ICT 機器の活用、教員の働き方改革の3つ。いじめは児童がどうかではなく、教員がしっかり研修して、教員がいじめについてしっかり予防・対策をするかに重点を置く。ICT 機器の活用は授業だけでなく、宿題や連絡帳で活用する。教員の働き方改革は、時間外勤務月20時間以下を目指す。初年は25時間以下と目標を設定している。 ○ いじめについては、いじめる側が絶対に悪い。 ○ いじめについては、民生委員も研修を受けている。民生委員も動くので、みんなで見守っていく。 ○ 不登校ぎみの児童は、学校に来ることに不安がある。何らかの理由で学校がこわいと言っている児童もいる。新一年生は、大きな変化への対応に戸惑い、それが原因。子ども一人一人により取り組みを進めてほしい。 ○中学生でも、小学校とのギャップに悩む生徒がいる。自己肯定感を高めることが必要で、日々心掛けていく。特に、日頃スポットライトが当たりにくい生徒には進んで関わりを持つようにしている。中学校の教員もきびしく生徒を指導する。しかし、それは愛情をもって、自分たちのためにきびしくしていることを生徒は理解している。 ○月1回でも、集団下校を復活してはどうか。コロナ前には行っていた。地域ごとに下校し、その地域に住む住民が付き添っていた。子どもたちにとって、自分の地域に住む大人を知る機会になっていた。また、大人も地域に住む児童を知る機会になる。 ○昔は子ども会があった。今は、なくなり児童同士のつながりが薄くなった。スポーツクラブに入っている児童はつながり
	2		

	<p>「校長経営戦略支援予算」</p> <p>「学力向上に資するブロック予算」</p>	<p>があるが、子ども会は良い組織だった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、若手教員が増えている中、教員の指導力を向上させる研修や指導用教材の購入、国際理解教育の充実に予算を使用していく。また、昨年度までの「音楽鑑賞」から今年度は「劇鑑賞」に変更する。さらに、児童費、宿泊行事費の高騰から保護者負担を減らすため、校外学習の入場料、交通費を戦略予算に移した。 ○コリアタウンに社会見学に行く意義や目的は何か。 ・6年生の国際理解、生野区を知る学習として行く。お小遣いを持っていき、買い物もする。コリアタウンで仕事をしている保護者もあり、キャリア教育の意味もある。博物館にも行き、歴史も学ぶ。 ○国際理解の学習もいいが、日本人の割合の方が多いのにもっと日本のことを児童に学ばせてほしい。 ・デジタル教材と校外学習（社会学習）に使用します。 ○科学館には行かないのか。 ・4年生が児童費で行きます。（隔年です） ○科学館から出前授業に来てもらってはどうか。以前は来てもらっていたと思う。また、「適塾」などの日本の歴史的建物にも行った方がいい。
協議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・令和8年度 「運営に関する計画」について ・令和8年度 「校長経営戦略支援予算」について ・令和8年度 「学力向上に資するブロック予算」について 	
備考	傍聴者[0]名	